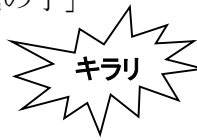




学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」

校報 さみ



佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校
校長 佐伯 好洋
平成28年度 校報
12月号 (No.9)

全国学力・学習状況調査について

教務主任 佐藤 善保

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果と分析についてお伝えします。

この調査は、全国の小学校6年生を対象にした調査で、国語と算数の学力の定着状況や生活環境との関連について把握・分析し、今後に生かしていくための調査です。この学力・学習状況調査の分析を、学校だけではなく、学校と家庭、地域との関わりの中で「佐見地域ぐるみ」の教育活動に繋げていく一つの材料にさせていただけるとありがたいです。

【佐見小学校の学力・学習状況調査結果の傾向】

☆学力調査結果から

- 国語Aにおいて書くこと（書く事柄を整理する）、国語Bにおいては読むこと（目的に応じて読む）の正答率が県・全国を上回った。
- 算数Aにおいて、数量と測定（単位量当たりの大きさの求め方）の正答率が県・全国を上回った。
- 国語A・B、算数A・Bともに全体の正答率は、全国・県の正答率を下回った。

☆学習状況調査から（質問紙調査※児童アンケート）

- グループでの話し合いをよく行い、話し合いながら整理して発表する学習活動への意識が全国・県よりも高い。
 - 地域行事に参加できている割合が全国より高い。
 - グループでの話し合いでは、最後まで話を聞き、自分の考えをしっかりと伝えたり、考えがうまく伝わるように工夫して発表したりする意識が全国・県よりも低い。
 - 自分のよいところを認め、夢や目標をもつ意識が全国・県よりも低い。
 - 家庭学習では、復習はしているが、予習への取組が低い。
 - 平日、1時間以上、テレビゲーム（携帯式含む）をしている割合が、全国・県よりも高い。
- *「授業がわかる」という質問では、算数は全国・県よりも高いが、国語は全国・県よりも低い。

今後も授業では、協同学習を中心に、仲間と意見や考えを話し合うことを通して、答えとその理由、根拠をはっきりさせて話す時間を大切にするとともに、終末には自分の考えをしっかりと書きまとめる活動や、学んだことを定着させる習熟の活動を大切にしていきたいと考えています。

さらに、家庭学習の質と量の向上を目指し、基礎的な学力を確実に身につけるために漢字ドリルや計算ドリルだけでなく、教科書を活用した調べ学習や予習・復習にも力を入れていきたいです。

また、家庭でも家庭学習の見届けやゲーム機器の使用についてご指導をよろしく願います。